



News Letter

毎月コツコツで未来は大きく変わる！ “ブレに強い” お金づくり

⬇ リスク＝危険ではなく「振れ幅」

投資でいう **リスクは価格がどれくらい上下するか**のこと。

- 振れ幅が小さい…あまり動かない
- 振れ幅が大きい…上がるときも下がるときも動きが大きい

💡 なぜ“リスクが高いほどリターンも高め”になりやすい？

ポイントは**価格のつき方**。みんなが不安を感じるものは、安くないと買ってくれない → 安く買えるぶん将来の伸びしろが大きい。

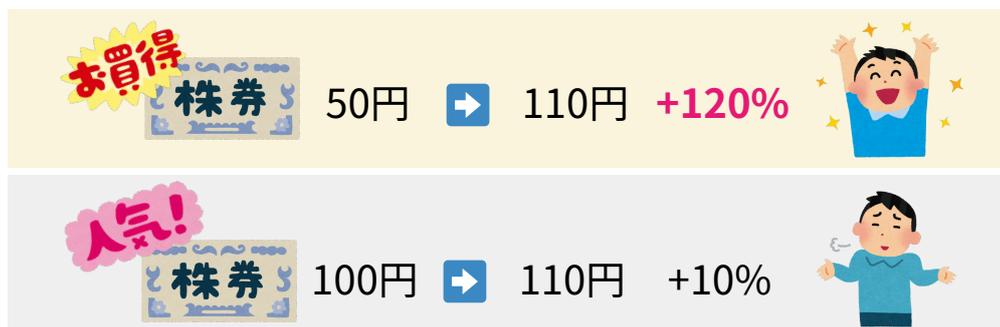
一方、確実性が高いものは人気 → 高い価格でも売れる → 利回りは低めになりがち。

(例) ①情報が少ない小さな会社の株＝**不安が大きい** → 安くなったらはじめて買われやすくなる

👉 ちょと上がるだけでリターンは大きい

②信用度の高い国の短期国債 ＝**不安は少ない**＝人気 → 価格が高くても買われる

👉 ちょと上がっても、リターンは小さい



👉 リスクと上手に付き合う3つの型

長期：時間が長いほど、結果は平均に近づきやすい。

分散：世界に広く・複数の資産で、上下をならす。

積立：下がった月はたくさん買える（平均の買値を下げるチャンス）。

むずかしい計算は不要。企業型DCの商品はもともと分散されているものが中心。**適度にブレを抑えつつ、世界の成長を取りにいく設計**になっています。迷ったらバランス型など**“おまかせ型”**でOK。

👉 仕事もリスクとの付き合い方が大事

新しい挑戦は困難を伴います。時には思い通りにいかずに失敗することもあるかもしれませんが、しかし、その**失敗が糧**となって将来の**大きな成長**をもたらします。**挑戦しなければ、失敗もない代わりに学びもない**。結果、将来の大きな成長も得られない。投資も仕事も、リスクとの付き合い方が重要ですね。

👉 次回予告——11月号は「投資コストの基本」について！——“見えにくい手数料”が受け取り額にどう効く？信託報酬と実質コストの見方、僅かな差が生むインパクトを簡単に解説します。

おすすめ!



[【乗り遅れたあなたに】確定拠出年金ってそもそも何ですか？](#)

これさえ見れば、納得・安心して始められます！



Click!

